

DIE
CASTINGS



POWER
TOOLS



BUILDERS'
HARDWARE



PRINTING
EQUIPMENT

ダイカスト事業

リョービは世界トップクラスのダイカストメーカー。
シリンダーブロックやトランスミッションケースなどの自動車部品をはじめ、さまざまな産業分野にダイカスト製品を提供しています。

ダイカスト製品



● 主なダイカスト製品

シリンダーブロック、
トランスミッションケース、
車体フレームなどの自動車・
二輪車用部品

パワーツール事業

本格的な住まいづくりからホビーまで、世界中のプロ・アマチュアに愛用されているリョービの電動工具。美しい庭づくりのための園芸用機器など、リョービは多彩なパワーツールで、「創造するよろこび」をお手伝いしています。



電子トリマ
[TRE-60V]

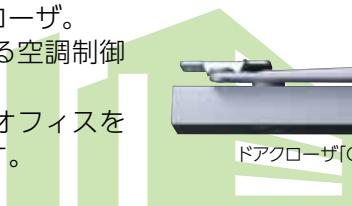


● 主な商品

ドリル、丸ノコ、グラインダ、
芝刈機、刈払機、高圧洗浄機、
クリーナなど

建築用品事業

ドアを静かに確実に閉めるドアクローザ。
ホテルなどの室温を快適に調節する空調制御システム。
リョービは安全で快適な住まいやオフィスを実現する建築用品を提供しています。



ドアクローザ[GEOPRO GD-4PV]

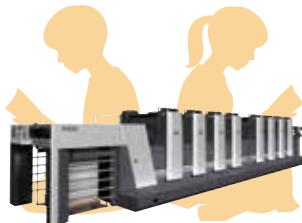
● 主な商品

- ・ドアクローザ
- ・ヒンジ
- ・建築金物等

印刷機器事業

カタログ、ポスター、パッケージなど、美しい印刷物をスピーディーに仕上げる高精度、多機能のオフセット印刷機。
世界中のお客様に独創的で高品質な印刷機やサービスを提供しています。

A全判オフセット8色印刷機
[RYOBI 928P]



● 主な商品

- ・オフセット印刷機
- ・印刷周辺機器等



技術と信頼と挑戦で、
健全で活力にみちた企業を築く。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第103期(2015年3月期)報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

リョービグループは「技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。」を企業理念とし、その具現化を進めております。お客様や社会のニーズに応え、独創的で高品質な商品やサービスを創造し、提供することにより、かけがえのない存在になることをめざしております。

リョービグループは環境保全、社会貢献活動、コンプライアンスなどさまざまなCSR活動を行っております。こうした活動を強化し、CSR経営の充実に努めてまいります。

当社は収益力の向上、企業体質の強化をはかりながら、業績に応じた配当を継続することを基本としております。当期(第103期)の期末配当金につきましては、2015年6月23日開催の定時株主総会でご承認いただきましたとおり、1株当たり4円(中間配当金4円とあわせて年間8円)といたします。

次期の配当につきましても、1株当たり年間配当金8円(中間配当金4円、期末配当金4円)を予定しております。

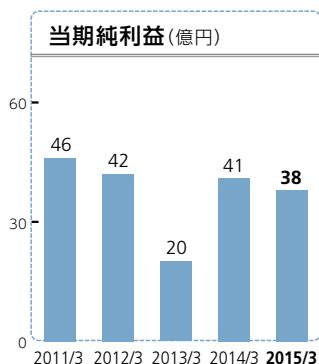
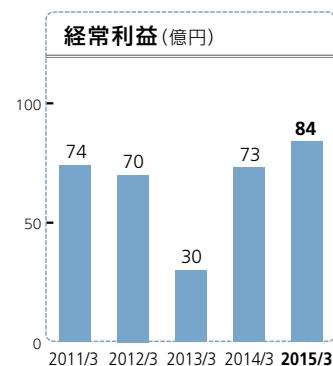
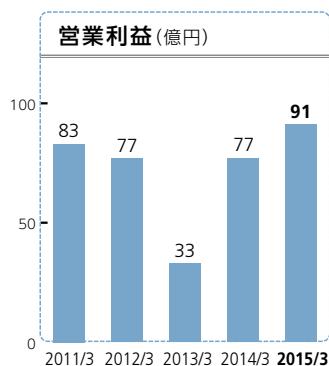
株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますとともに、今後とも末長くご愛顧をいただきますようお願い申し上げます。

2015年6月

代表取締役社長

浦上彰

連結決算の要点解説



●業績推移

科目	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3(予想)
売上高 (百万円)	161,730	165,638	166,566	199,697	227,163	264,000
営業利益 (百万円)	8,285	7,715	3,307	7,665	9,122	11,000
経常利益 (百万円)	7,438	6,950	2,980	7,264	8,399	10,000
当期純利益 (百万円)	4,594	4,179	2,009	4,132	3,809	6,000
1株当たり当期純利益 (円)	28.40	25.84	12.42	25.53	23.53	37.07
総資産 (百万円)	170,577	187,694	214,725	244,976	267,854	—
純資産 (百万円)	71,217	74,350	79,767	96,433	107,403	—
1株当たり純資産 (円)	434.18	453.03	484.70	565.74	628.89	—

売上高・利益の状況

当連結会計年度(2015年3月期)のわが国経済は、上半期は、消費税増税駆け込み需要の反動で個人消費や生産が一時的に落ち込みましたが、金融緩和や財政支出、成長戦略などの経済政策への期待から円安、株高が進み、穏やかな回復基調で推移しました。下半期は、円安、株高に加えて原油価格の下落が進み、企業の収益改善や設備投資の増加が進みました。海外では、不透明な中東情勢や欧州の債務問題などがありました。米国や中国の自動車分野などでは堅調な需要が続きました。

資産・負債、純資産の状況

当連結会計年度末(2015年3月末)の総資産は、前連結会計年度末に比べ228億78百万円増加し、2,678億54百万円となりました。増加は主に受取手形及び売掛金46億41百万円、たな卸資産59億93百万円、有形固定資産90億25百万円、投資有価証券30億99百万円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ119億9百万円増加し、1,604億51百万円となりました。増加は主に支払手形及び買掛金58億22百万円、長・短借入金11億46百万円等によるものです。受取手形割引高及びリース債務を除いた有利

このような情勢のもとで、当社グループは積極的な販売活動とユーザーニーズをとらえた新商品の開発を進めるとともに、原価低減や生産性向上、業務の効率化など諸施策を実行しました。

その結果、当連結会計年度の業績は、前連結会計年度に比べて増収、営業利益、経常利益は増益でしたが、当期純利益は減益となりました。なお、前連結会計年度の当期純利益には、米国子会社の繰延税金資産の回収可能性を再評価した影響が含まれております。

子負債残高は、865億3百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ109億69百万円増加し、1,074億3百万円となりました。増加は主に為替換算調整勘定63億21百万円、その他評価差額金21億47百万円等によるものです。純資産から少数株主持分を差し引いた自己資本は、前連結会計年度末に比べ102億20百万円増加し、1,017億87百万円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.6ポイント増加し、38.0%となりました。

次期(2016年3月期)の見通し

わが国の経済情勢につきましては、政府の経済政策や消費税率再引き上げの延期、追加の金融緩和、為替や原油価格、企業の設備投資意欲の動向など不透明な要因が多い状況にあります。当面は緩やかな回復が続くと期待されますが、輸入物価や人件費などの上昇が企業収益に影響することも懸念されます。海外においては、米国経済は堅調に推移すると期待される一方、欧州での債務問題や中国経済の成長鈍化、中東地域の不安定さなどが懸念されます。

このような情勢のもと、現時点における次期(2016年3月期)の連結業績は、増収、増益となる見通しです。

ダイカスト事業は、国内の受注については前年並みが確保できる見通しです。また、海外は、北米や欧州での受注が

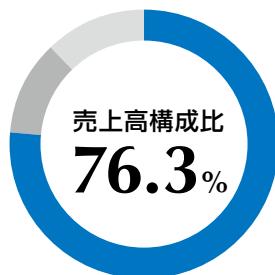
堅調に推移する見通しに加えて、中国・タイでの生産拡大などで、増収、増益となる見通しです。

住建機器事業は、国内は厳しい販売競争が続くと予想されますが、輸出の増加で増収をめざします。一方で、人民元高や中国での労務費上昇などの影響で売上高原価率が上昇し、利益は減少する見通しです。

印刷機器事業は、国内では設備投資意欲の力強い回復がみられず、厳しい販売環境が続くと予想されますが、円安などを背景に輸出は増加する見通しです。また、当社と三菱重工印刷紙工機械株式会社のオフセット枚葉印刷機事業の統合効果を一層高めて、販売力やサービス力の強化、生産性の向上を通じて増収、増益をめざします。

ダイカスト 事業

DIE CASTINGS



当期の業績

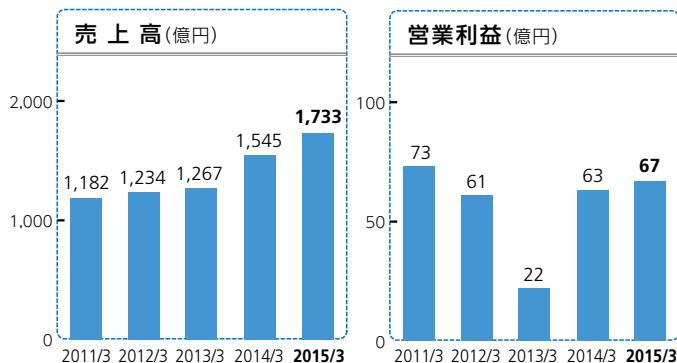
売上高は1,733億29百万円(前連結会計年度比12.2%増加)、営業利益は66億72百万円(同6.8%増加)となり、前連結会計年度に比べて増収、増益となりました。

中国での生産拡大に加えて、北米や欧州での受注増加、国内での受注が堅調に推移したことなどにより増収、増益となりました。

■ 事業展開の方向性

ダイカストの有望市場への資源配分と収益性の向上をめざして、価格競争力、営業力、技術開発力、品質保証能力の強化、生産性の向上、経営資源の有効活用に取り組んでいます。

日本、米州、欧州、アジアに製造販売拠点を構え、世界トップクラスのダイカストメーカーとしてのノウハウを活かして、グローバルに自動車メーカーなどとの関係を強化し、国内・海外での受注拡大を進めています。ダイカストの主な需要先である自動車市場は、将来、国内は縮小が予想されるものの、海外では北米や欧州、中国、東南アジアでの拡大が期待されます。当事業の世界戦略体制を強化するために、中国やタイ、メキシコにある連結子会社の生産能力の増強をはかるとともに先行投資の早期回収を進めていきます。さらに、ダイカストの需要増大が予想される北米や欧州においても、収益性を見極めながら工場拡張や生産設備の増設を検討していきます。なお、中国事業の営業力強化を



目的として2014年10月に上海市に販売会社を設立し、2015年1月から営業を開始しました。

また、軽量かつ耐久性に富み、リサイクル性に優れたアルミニウムダイカストは、省エネルギー、省資源など環境保全にも有効な技術として用途を拡大するとともに、高品質な製品、付加価値の高い製品の開発に一層注力します。特に自動車分野においては、電気自動車やハイブリッド車の増大に対応するために、パワートレイン部品以外の自動車部品（車体部品等）のダイカスト化に取り組んでいます。

■ ダイカスト製品の搭載例

2015年3月より、本田技研工業株式会社様向け軽自動車用アルミサブフレームの国内生産を開始しました。当社のアルミサブフレームが軽自動車に初めて採用され、注目されています。

サブフレームをアルミダイカスト化することで、一体成形による部品点数の削減や薄肉化などが可能となり、高い剛性と軽量化を実現しています。



サブフレーム(ホンダ S660 へ搭載)



■ 中国におけるダイカスト事業の販売会社の設立

当社は中国におけるダイカスト事業の製造販売拠点として、利優比压铸（大連）有限公司、利優比压铸（常州）有限公司をもち、それぞれ東北地域、華東地域等の自動車メーカーへダイカスト製品を供給しています。営業活動についても、これら大連と常州のそれぞれの営業組織が中国全土の自動車メーカーを対象に行ってきました。

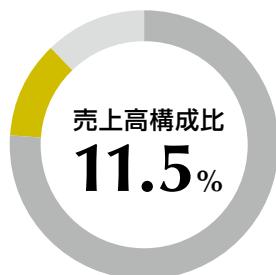
中国におけるダイカスト事業の営業力の強化及び営業企画機能の充実を図るため、自動車メーカーが集積する中国上海市に販売会社の利佑比（上海）商貿有限公司を2014年10月15日に設立するとともに、両拠点の営業組織を統合しました。これにより、既存のお得意先のみならず、新規お得意先の開拓や新規品の受注促進などの営業力の強化、中国市場における中長期戦略立案などの営業企画機能をいっそう高めていきます。



住建機器 事業

パワーツール
事業
POWER TOOLS

建築用品
事業
BUILDERS' HARDWARE

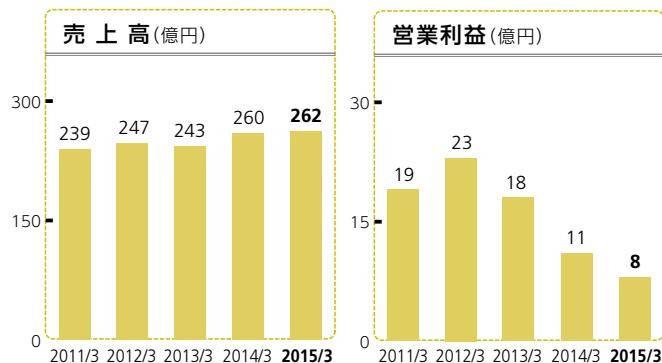


当期の業績

売上高は262億36百万円(前連結会計年度比1.1%増加)、営業利益は8億12百万円(同26.4%減少)となり、前連結会計年度に比べて増収、減益となりました。

国内の売上高は競争の激化などで減少しましたが、輸出の増加により全体では増収になりました。利益については、人民元高による売上高原価率の上昇などから、減益となりました。

(注) 住建機器事業はパワーツール事業と建築用品事業で構成されています。有価証券報告書の会計セグメントはパワーツール事業と建築用品事業を合算した住建機器事業の業績でご報告しており、当報告書もそれに準じた業績開示報告となります。



パワーツール 事業

POWER TOOLS

■ 事業展開の方向性

お客様の期待を超える商品、サービスを提供することにより市場の信頼を築いていくことをめざして、商品企画力、商品開発力、技術開発力の強化に取り組んでいます。軽量、コンパクトをコンセプトに、使いやすさと機能性、安全性を追求し、プロ用からDIY用まで幅広いお客様のニーズに応え、お客様の期待を超える快適な商品やサービスの開発を進めています。

また、国内・海外の販売力の強化に加えて、中国にある連結子会社の生産性・収益性の改善、品質向上などの取り組みを一層推進して、収益力を高める体制づくりを進めます。

■ 新商品 バリカン [AB-1120/1620]

3坪（約10㎡）以下の芝のある庭、芝刈機では刈りにくい壁際、花壇周りの芝刈りに最適なバリカンを発売しました。壁や障害物に刃物をあてない“キワ刈りガイド”を装着し、刃物側に芝を引き込みながら刈るのでキレイに刈れます。



[AB-1620]

■ 新商品 ポールバリカン [PAB-1620]

立ったままの姿勢で芝を刈れるポールバリカン。バリカン [AB-1620] に専用のポールと、芝地でスムーズに動かせるスライダーを付属しています。バリカンより広範囲の5坪（約17㎡）程度の広さの庭に最適です。



[PAB-1620]

■ 新商品 充電式ディスクグラインダ [BG-1410/1810]

ユーザーである職人さんから「長く使っても手が疲れない」、「どんな体勢でも作業しやすい」など評価が高いプロ用ディスクグラインダに充電式を新たにラインアップしました。「BG-1410/1810」は、砥石径100mmの充電式ではクラスで最も細い直径58mmを実現しています。

また「狭い所にヘッド部が入りやすい」、「切断時に切り込み深さが変わらない」など好評で、ギヤヘッドを丸くした、独自設計の”丸形スリムギヤヘッド”も継承。さらにヘッド高さを63mmと低く抑え、より使いやすくなっています。



[BG-1810]



建築用品 事業

BUILDERS' HARDWARE

■ 事業展開の方向性

主力のドアクローザや引戸クローザをはじめ、ドア周りをいっそう便利に使いやすくする商品の機能性、意匠性を追求し、特長ある高品質商品の開発に取り組んでいます。

また、日本と中国にある工場の生産性や収益性の改善、品質保証の強化、コストダウンを推進し、価格競争力を高めて、収益の向上をめざします。

■ 新商品 幅狭型フロアヒンジ「500V」

フロアヒンジは、ドアを支持する回転軸と自閉機能を備えた自閉装置です。ドアの重量を受け、開閉速度を



幅狭型フロアヒンジ「500V」

制御する本体は、床に埋め込まれ、ビルや店舗の入口等、様々なドアに採用されています。

このフロアヒンジのラインアップとして、入口のデザインがスッキリとする幅狭型フロアヒンジ「500V」を2015年1月に発売しました。他社商品からの交換需要にも対応できる商品で、欧州、アジア、大洋州等の海外市場を中心に販売拡大を目指します。

■ 防火ドア用ドアクローザ ファイアマン FM型

火災報知機と連動し、火災時に延焼を防ぐために働くファイアマン。

1983年に建築基準法令等への適合性を認められたファイアマンは、その便利な機能が市場で評価され、設置が拡大しています。

この度、更なる防火性能を向上させるために、耐久性を従来品比約7倍に高めました。

便利で丈夫なファイアマンは、みなさまの安全なくらしを守るため、いざという時に活躍する商品です。



ファイアマン FM型

印刷機器 事業

PRINTING EQUIPMENT



当期の業績

売上高は273億80百万円(前連結会計年度比43.9%増加)、営業利益は16億25百万円(同432.4%増加)となり、前連結会計年度に比べて増収、増益となりました。

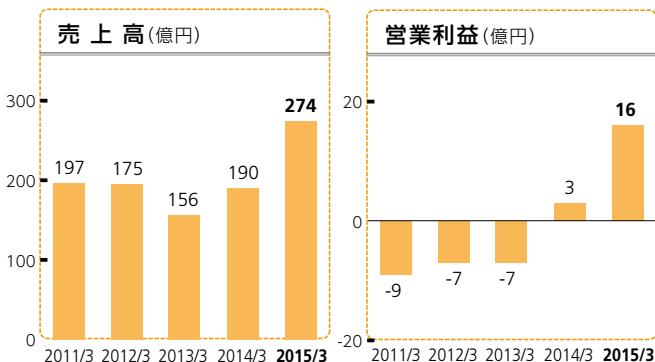
三菱重工印刷紙工機械株式会社とのオフセット枚葉印刷機事業の統合で印刷機のラインアップが拡充されたことや顧客基盤を活かした販売活動を進めた結果、増収となりました。利益については、増収に伴う増益に加えて、円安が続いたことによる輸出環境の改善などで増益となりました。

■ 事業展開の方向性

当事業は、精度の高い多色化と印刷機能の高度化を追求し、小型から大型まで豊富なバリエーション（サイズ・機能・価格等）を取り揃えるオフセット枚葉印刷機を中心に、デジタル化に対応した商品や環境に配慮した商品を開発・製造し、国内および海外で幅広く販売しています。

リーマンショック以降、印刷需要が減少し、印刷機器の市場も縮小したことから激しい販売競争が続いていますが、当社と三菱重工印刷紙工機械株式会社の合併会社として、2014年1月に創業したリョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社では、販売やサービスの強化、開発体制の強化、製造力の強化などに取り組み、経営基盤の強化や安定した利益を出せる体質づくりをめざしています。

今後、印刷機器市場は、新興国での需要拡大、先進国での高付加価値印刷機に対する需要の伸張が期待されます。同事業は、これら需要を取り込むためにお客様のニーズに応える独創的で高品質な印刷機やサービスを提供し、利益を伴う売上高の拡大をめざします。

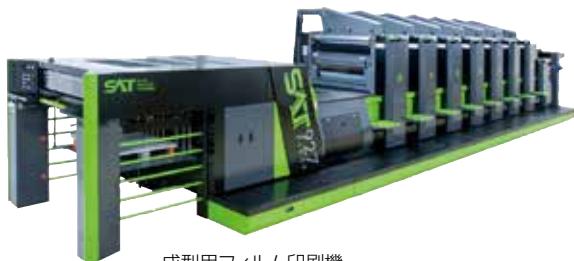


■ 水なしLED-UVオフセット印刷機で、成型用フィルム印刷を実現

世界で初めて、LED-UV乾燥装置を搭載したオフセット印刷機で、成型用フィルムに印刷するSAT SYSTEMを開発しました。

自動車内装材や家電部品等樹脂製品の製造方法の一つであるインモールド成型においてはスクリーン印刷が採用されていますが、より短納期・大量生産・高品位であることが求められています。このようなニーズに対応するために、株式会社ミノグループ、大和ブランド株式会社と共同で開発を進め、オフセット印刷による新しい印刷工法を確立しました。

「スクリーン印刷の機能性、多様性をオフセット印刷で実現」を意味する「SAT(Screen Advanced Technology) SYSTEM」と名付けて、自動車や家電の成形部品を製造する市場に、新しい印刷システムとして発売を開始しています。



成型用フィルム印刷機
「SAT(Screen Advanced Technology) SYSTEM」

■ 事業統合前に2社が培ってきた技術を融合して、A全判オフセット印刷機920シリーズを刷新

三菱重工印刷紙工機械株式会社が開発した「Vタイプフィーダー（用紙送り装置）」を当社が開発した920シリーズに搭載して、用紙搬送性能の更なる向上を実現しました。また、排紙部のデザインも一新し、安全性、操作性を一段と高めています。



新しく搭載した
Vタイプフィーダー



A全判オフセット印刷機 RYOBI 920シリーズ

連結財務諸表

貸借対照表 (2015年3月31日現在)

単位:百万円

科目	当期	前期
資産の部		
流動資産	123,522	113,626
現金及び預金	17,848	18,419
受取手形及び売掛金	52,738	48,096
有価証券	1,393	1,493
たな卸資産	45,464	39,471
繰延税金資産	1,201	1,184
その他	4,950	5,041
貸倒引当金	△ 73	△ 79
固定資産	144,332	131,349
有形固定資産	120,278	111,253
建物及び構築物	32,856	31,286
機械装置及び運搬具	54,738	48,645
土地	23,322	23,224
建設仮勘定	5,176	4,523
その他	4,184	3,572
無形固定資産	2,689	2,467
投資その他の資産	21,364	17,628
投資有価証券	14,958	11,858
繰延税金資産	4,079	3,874
その他	2,397	1,979
貸倒引当金	△ 71	△ 83
資産合計	267,854	244,976

科目	当期	前期
負債の部		
流動負債	107,419	99,627
支払手形及び買掛金	40,994	35,171
短期借入金	37,802	37,277
1年内返済予定の長期借入金	10,622	12,159
未払法人税等	1,866	1,753
賞与引当金	1,637	1,569
役員賞与引当金	41	42
その他	14,454	11,654
固定負債	53,032	48,914
長期借入金	38,077	35,920
繰延税金負債	2,258	1,203
再評価に係る繰延税金負債	534	630
退職給付に係る負債	8,466	7,567
その他	3,694	3,592
負債合計	160,451	148,542
純資産の部		
株主資本	87,425	86,556
資本金	18,472	18,472
資本剰余金	23,757	23,757
利益剰余金	47,529	46,661
自己株式	△ 2,334	△ 2,334
その他の包括利益累計額	14,362	5,010
その他有価証券評価差額金	6,308	4,160
繰延ヘッジ損益	△ 18	△ 24
土地再評価差額金	719	655
(*) 為替換算調整勘定	7,084	763
退職給付に係る調整累計額	267	△ 544
少数株主持分	5,615	4,866
純資産合計	107,403	96,433
負債純資産合計	267,854	244,976

財務諸表 ワンポイント解説

(*) 為替換算調整勘定

連結決算にあたっては、海外子会社の外貨建て財務諸表を換算手続きによって円貨建てにする必要があります。円換算する際の為替レートは原則として決算時のレートが適用されますが、資本金や利益剰余金については、それが発生したときのレートが適用されるため、資産と負債・純資産の金額が一致しくありません。この差額を調整するのが「為替換算調整勘定」です。当期は円安方向に為替が動いた結果、「為替換算調整勘定」によって純資産が6,321百万円増加しました。

損益計算書 (2014年4月1日から2015年3月31日まで) 単位:百万円

科目	当期	前期
売上高	227,163	199,697
売上原価	194,142	169,539
売上総利益	33,021	30,158
販売費及び一般管理費	23,898	22,493
営業利益	9,122	7,665
営業外収益	1,847	2,041
営業外費用	2,571	2,442
支払利息	1,881	1,706
その他	689	735
経常利益	8,399	7,264
特別利益	16	22
固定資産処分益	8	22
その他	7	0
特別損失	105	1,850
固定資産処分損	105	194
その他	-	1,656
税金等調整前当期純利益	8,310	5,436
法人税等	3,931	1,081
少数株主利益	568	222
当期純利益	3,809	4,132

キャッシュ・フロー計算書 (2014年4月1日から2015年3月31日まで) 単位:百万円

科目	当期	前期
営業活動による キャッシュ・フロー	18,331	16,404
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 15,019	△ 21,096
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 4,876	△ 934
現金及び現金同等物に係る 換算差額	462	1,086
現金及び現金同等物の 増減額	△ 1,102	△ 4,539
現金及び現金同等物の 期首残高	17,711	21,844
現金及び現金同等物の 期末残高	16,609	17,711



財務諸表 ワンポイント解説

POINT

フリーキャッシュフロー

「営業活動によるキャッシュフロー」と「投資活動によるキャッシュフロー」を合算したものをフリーキャッシュフローと呼びます。ここ数年、海外への設備投資を中心に積極的な増産投資を行ってきたために、2012年3月期からフリーキャッシュフローの赤字が続いていましたが、これらの投資が一段落し、設備投資額が前期比で減少したことから、当期は4期振りの黒字となりました。この資金を借入金返済と配当金の支払いに充当しております。

株主資本等変動計算書 (2014年4月1日から2015年3月31日まで)

単位:百万円

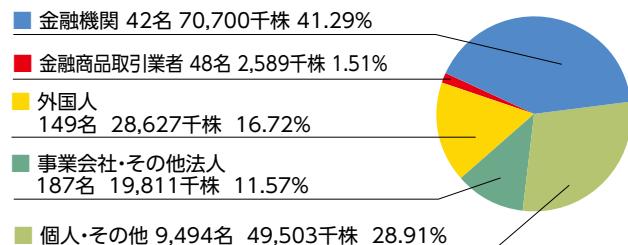
	株主資本					その他の包括利益累計額						少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	18,472	23,757	46,661	△ 2,334	86,556	4,160	△ 24	655	763	△ 544	5,010	4,866	96,433
会計方針の変更による 累積的影響額			△ 1,645		△ 1,645							△ 5	△ 1,650
会計方針の変更を反映した当期首残高	18,472	23,757	45,015	△ 2,334	84,911	4,160	△ 24	655	763	△ 544	5,010	4,861	94,783
当期中の変動額													
剰余金の配当			△ 1,294		△ 1,294								△ 1,294
当期純利益			3,809		3,809								3,809
自己株式の取得				△ 0	△ 0								△ 0
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)						2,147	5	64	6,321	812	9,351	754	10,105
当期中の変動額合計	-	-	2,514	△ 0	2,514	2,147	5	64	6,321	812	9,351	754	12,620
当期末残高	18,472	23,757	47,529	△ 2,334	87,425	6,308	△ 18	719	7,084	267	14,362	5,615	107,403

■ 株式の概要

■ 発行可能株式総数	500,000千株
■ 発行済株式の総数	171,230千株
■ 株主数	9,920名

● 株式分布状況

＜所有者別＞合計9,920名／171,230千株



● 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	9,300	5.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,709	5.38
菱工会持株会	8,097	5.00
第一生命保険株式会社	8,067	4.98
日本生命保険相互会社	6,240	3.85
公益財団法人浦上奨学会	5,680	3.50
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,218	3.22
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	4,842	2.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,706	2.90
三井住友信託銀行株式会社	3,503	2.16

(注) 当社は、自己株式9,377千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■ 会社の概要

社名 リョービ株式会社
 英文社名 RYOBI LIMITED
 創立年月日 1943年12月16日
 資本金 184億72百万円
 社員数 1,724名

主なグループ会社

● ダイカスト事業

リョービミラサカ株式会社
 リョービミツギ株式会社

株式会社東京軽合金製作所
 生野株式会社
 RYOBI DIE CASTING(USA), INC.
 RDCM, S. DE R. L. DE C. V.
 RYOBI ALUMINIUM CASTING (UK), LIMITED
 利優比压铸(大連)有限公司
 利優比压铸(常州)有限公司
 RYOBI DIE CASTING(THAILAND)CO., LTD.
 利佑比(上海)商貿有限公司

● 住建機器事業

リョービ販売株式会社
 利優比(大連)机器有限公司

● 印刷機器事業

リョービMHIグラフィック
 テクノロジー株式会社

■ 役員 (2015年6月23日現在)

● 取締役

代表取締役 浦上 浩
 代表取締役 浦上 彰
 取締役 横山 隆志
 取締役 鈴木 健二郎
 取締役(社外) 大岡 哲
 取締役(社外) 加藤 大朗
 取締役 川口 裕幸
 取締役(社外) 山本 裕二

● 監査役

常勤監査役 小林 照三
 監査役(社外) 荒井 洋一
 監査役(社外) 畑川 高志

● 執行役員

会長 浦上 浩
 社長 浦上 彰
 常務執行役員 横山 隆志
 執行役員 鈴木 健二郎
 執行役員 川口 裕幸
 執行役員 鈴木 隆
 執行役員 滝野 義巳
 執行役員 栢野 隆史
 執行役員 望月 達由

「らしごこち」がテーマです。



株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金受領株主
確定日 3月31日
- 中間配当金受領株主
確定日 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)
- 同連絡先
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 証券コード 5851
- 公告の方法 電子公告 <http://www.ryobi-group.co.jp/>

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
2. 特別口座に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行でお受けしますので、左記の連絡先にお問合せください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

RYOBI リョービ株式会社

本社 〒726-8628 広島県府中市目崎町762

TEL (0847) 41-1111

東京支社 〒114-8518 東京都北区豊島5-2-8

TEL (03) 3927-5541

<http://www.ryobi-group.co.jp/>

この報告書はリョービの印刷機で印刷しています。
無断複製・転載等を禁止します。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。